

エコフレームでエコロジー・ハイテク建設をプロデュース

株式会社フジテツ 奈良県奈良市

株式会社フジテツは、あらゆる鉄骨・建材に対応する加工、販売・施工企業として、総合的プロデュース力、提案型営業による攻めの姿勢で成長してきた。

その要は、長年培った高度な技術とノウハウにより、ユーザーのニーズ・悩みに積極的に応え解決を図ろうとする強いユーザー志向である。

そして近年、建設リサイクル法の施行などで、建設業界において環境保全に対するニーズが高まるなか、地球環境に配慮した新しい構法「エコフレーム」の市場開拓により、未来志向のソリューション型（課題解決型）企業を目指す。

会社概要



会社名：株式会社フジテツ
 所在地：奈良市山町 645
 電話：0742-61-2277
 F A X：0742-61-2279
 設立：昭和 40年（1965年）
 代表者：代表取締役社長 梶原 博志
 資本金：2,500 万円
 従業員：20 名
 事業内容：建築鉄骨・エコフレームの加工組立、建材、基礎部材、太陽光発電システムの販売施工

URL：http://www.fujitetsu.co.jp/



株式会社フジテツ本社・工場

鉄骨・建材で建設工程を一貫プロデュース

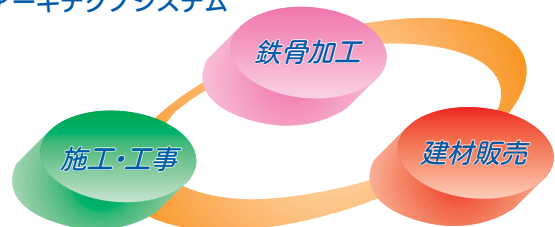
株式会社フジテツは、昭和 40 年（1965 年）の創業以来、あらゆる鉄骨・建材に対応する総合的な加工、販売・施工企業として成長してきた。

攻めの姿勢で技術の高度化・営業に取り組み、多種多様な建築仕様・顧客ニーズに対応する技術力には高い定評がある。

近年、住む人の視点に立った機能性・デザイン性重視の建物づくりを求める声が高まるなか、建設構造の複雑化と建設素材の氾濫は建設各社の悩みとなっている。

そこで同社では、長年の実績を踏まえて、鉄骨・建材に関して総合的にプロデュースする「アーキテクノシステム」を掲げ、技術高度化と平行して提案・ソリューション型営業を進めている。

アーキテクノシステム



梶原社長は「同業者と勝負するのではなく、元請けや設計事務所、また、施主に提案するユーザー志向の攻めの姿勢を大切にしてきた」と語る。同時に、その中で持ち上がる難しい顧客ニーズにチャレンジすることは高技術力にも繋がった。

近年は財政逼迫から公共工事が減少傾向にあり、建設業界、ひいては鉄骨・建材業界にも逆風が吹いている。同業者も最盛期のバブル経済期に比して大幅に減少しているという。

しかし、公共工事発注を待ち、入札に参加するという待ちの姿勢が多い業界で、同社は早くから民間工事主体に攻めの姿勢を持ち続けてきた。

産学連携からエコスフレームが誕生

建設現場での大きな問題として、施工時の騒音・振動、頻繁な大型輸送車両の通行、廃土排水の近隣への流出、さらには建設廃棄物処理といった環境問題がクローズアップされている。

これを一気に低減させる構法として、平成10年、同社社長の参加する研究グループで開発されたのが杭柱一体構法「エコスフレーム」である。

この研究グループは、京都大学、大阪大学等の研究者を交え、長期的な視野で同業者の親睦・技術交流を目指すもので、目先の利害よりも難しい仕事にチャレンジするためのモチベーションを高めるための集まりとのことである。

その中で産学連携により「エコスフレーム」が開発・特許取得され、梶原社長らを中心としたメンバーによる市場開拓が始まった。

騒音・振動や廃棄物低減のエコ構法

「エコスフレーム」は、鋼管杭と鉄骨柱を一体化させた構法で、基礎として地中に鋼管杭を打ち込み、上部躯体をジョイントさせるものである。

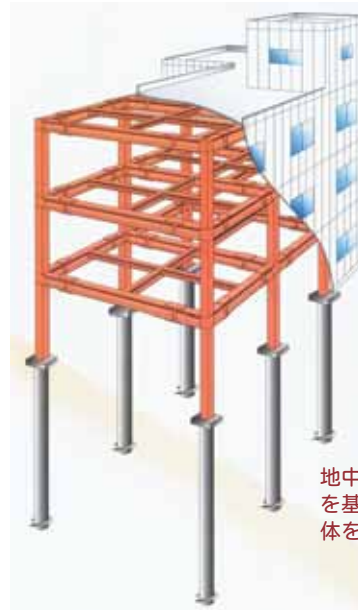
地面の大規模な掘り起こしを要する鉄筋コンクリート製の基礎や地中梁等が不要で、完全リサイクル仕様により様々な利点を持つ。

- 鋼管杭の採用により100%リサイクル可能。
- 水・土留めが不要で、廃水・残土が出ない。
- 住宅密集地や狭小地での近接施工が可能。
- 従来工法比約21日間の工期短縮。進入車両は約1割、作業員も約2割に大幅低減。
- 引き抜き強度も高く高耐震・高耐久構造。

文化庁も認める地面・環境へのやさしさ

建設業界では、「狭い」「地面を掘れない」「進入車両の騒音」「近隣住民への配慮」が悩みの種である。地面を掘り起こさず、振動・騒音、残土が出ない構法は、建物の密集した都市部でのニーズが高い。

特に、埋蔵文化財への配慮が必要な京都などで



地中に埋設した鋼管杭を基礎として上部の躯体をジョイント

は、地面を掘ることが制限されているが、この構法は埋蔵文化財への影響も低く、文化庁から認められることも多いという。

平成14年5月の建設リサイクル法制定により、分別解体、リサイクル、届け出等の手続が義務づけられた。様々な面で環境対応性が高い「エコスフレーム」に対して、今後ますます建設工事でのニーズが高まっていくものと考えられる。

エコロジーを理念に未来志向型企业へ

新市場の開拓において、新製品（構法）の開発、高い技術力などはもちろん重要ではあるものの、同時に重要であるのが、積極的な営業活動であるとされる。画期的な製品も、営業活動が無くては日の目を見ずに終わるケースも多い。

株式会社フジテツは、ユーザーニーズに応える高技術と、積極的な提案・ソリューション型営業の両輪を備えているといえよう。

そして近年、地球環境に関心が集まるなか、環境への配慮は、これからの企業には欠かせない地球規模でのニーズとなっている。

今、同社は、新たに太陽光発電システムの販売施工に乗り出すなど、エコロジーを理念として、未来志向のソリューション型企业として歩んでいる。

(山城、武村)